

郡山市女性活躍推進事業【福島県郡山市】

地域の実情と課題

本市が平成28年度に実施した女性活躍推進に関する事業所調査によると、女性管理職の割合は12%と低い状況にあり、また、従業員の性別割合でも女性は37.3%と低く、女性の活躍促進に向けた支援が必要な状況にある。

また、本市には、日本でも最先端の再生可能エネルギーの研究施設や工学と医学の合同研究を行う施設があるが、理工系に進学する女性は少ないことが課題である。

さらに、女性活躍の推進を実現するためには、家庭や地域、職場における理解やサポートにより、女性が活躍しやすい環境づくりを進めていくことが課題である。

事業の特徴

1. こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議

多種多様な団体が相互に連携を図るため、メーリングリストの整備・活用を行うとともに、女性活躍に向けた課題等について意見交換を行い、課題解決に向けた対策の提案を行った。

2. 目指せ！理工系女子バスツアー

市内小中学校の女子児童生徒を対象に、理系分野へ興味をもつ機会を提供するためのバスツアーを開催した。

3. 男性の家事・育児参画推進事業

男性の家事参画の意識醸成を図り、女性が働きやすい環境づくりに向けて、男性対象の料理講座を実施した。

4. 男女共同参画推進事業者表彰

女性活躍推進や男女がともに働きやすい環境づくり等に積極的に取り組んでいる事業者を表彰した。

5. 男女共同参画フェスティバル

職場環境も含めたあらゆる分野における男女共同参画推進のため、市民との協働によりフェスティバルを開催した。

目的・目標

あらゆる分野における女性活躍を推進することを目的に、様々な対象に対して事業を展開した。

○こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議参加団体数

H29年度 39団体 → H30年度 38団体

新規加入1団体、休止等2団体のため全体で1団体の減。

引き続き、新たな団体加入に向け働きかけが必要。

○バスツアー参加者数

H29年度 77人 → H30年度 80人

定員を超える申込があったため抽選を実施。

○講座参加者延人数

H29年度 143人(8回) → H30年度 85人(5回)

講座1回あたりの参加者はH29は17.8人、H30は17人であり、参加者増に向けた取組が必要。

○男女共同参画推進事業者表彰受賞事業者数

H29年度 3者 → H30年度 3者

目標値5者の達成に向けて周知啓発が必要。

○フェスティバル参加者延人数

H29年度 2,373人 → H30年度 1,712人

会場の都合上、H29年度の参加者数には達しなかったが、目標値950人を大きく上回る参加者となった。

連携団体

1. こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議、こおりやま広域圏
2. 日本大学工学部、産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所、曾田香料株式会社
3. (公財)郡山市文化・学び振興公社
4. 郡山市男女共同参画審議会、こおりやま広域圏
5. (公財)郡山市文化・学び振興公社、男女共同参画フェスティバル実行委員会、こおりやま広域圏

事業の効果

1. こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議
グループごとに意見交換を行うことで、女性活躍に関する課題等についての理解を深めることができ、今後の取組につながるものとなった。
2. 目指せ！理工系女子バスツアー
参加児童生徒の理工系分野に対する興味関心の高揚を図ることができ、今後の取組につながるものとなった。
3. 男性の家事・育児参画推進事業
参加男性の家事・育児に対する理解の促進につながった。
4. 男女共同参画推進事業者表彰
募集の周知啓発の強化を行った結果、H30年度の受賞者は3者となった。受賞者の取組内容等は、市ウェブサイトや男女共同参画フェスティバルのセレモニーや活動成果展示をとおして広く発信し、市民等への理解を深めることができた。
5. 男女共同参画フェスティバル
育児・家事をテーマとした講演会をとおして、参加者に対し、男性の家事・育児参画への理解を深めるとともに、男女共同参画推進事業者の取組を活動成果展示や市ウェブサイト等により広く発信することで、市民の理解を深めることができた。

今後の課題

1. こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議
女性活躍の推進には、意識改革が重要であるため、女性の意識改革、女性を取り巻く周囲の意識改革、働きやすい職場環境づくりに向けたと施策を推進していく。
2. 目指せ！理工系女子バスツアー
理工系以外で女性の社会進出が進んでいない分野に対する取組についての検討を行うとともに、興味を持つきっかけづくりとしての実施している事業から、次のステップへ進んだ施策を検討する必要がある。
3. 家事・育児参画推進事業
参加者数について定員に余裕があることから、講座内容の精査や参加者を増やすための周知啓発の強化を進めていく必要がある。
4. 男女共同参画推進事業者表彰
応募が少ない業界等への働きかけを行うなど、応募者の増加に向けた取組を実施する。
5. 男女共同参画フェスティバル
若年者や子育て世代の参加者を増やし、男女共同参画や女性活躍に関する意識の醸成を図る必要がある。

事業の概要

1. こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議
多種多様な団体が相互に連携を図るため、メーリングリストの整備・活用を行うとともに、女性活躍に向けた課題等について6つのグループに分かれ、それぞれのグループに設定された課題に対して意見交換を行い、課題解決に向けた対策の提案を行った。

【実施状況】

1. ネットワーク会議
 - (1) 会議内容: グループごとに女性活躍推進に関する課題について意見交換を行い、課題解決に向けた対策の提案とその手法の設定を行った。
 - (2) 参加団体: 38団体
 - (3) 会議回数: 4回(平成30年8月29日, 10月18日, 12月14日, 平成31年2月6日)
 - (4) その他: 働き方改革に関するワークショップの開催(9月19日)
2. メーリングリスト
 - (1) 登録数: 27人
 - (2) 活用回数: 2回(市からの情報発信)



こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議

事業の概要

2. 目指せ！理工系女子バスツアー

市内小中学校の女子児童生徒を対象に、理系分野へ興味をもつ機会を提供するためのバスツアーを開催した。

【実施状況】

- (1)見学先：日本大学工学部、産総研福島再生可能エネルギー研究所、曾田香料株式会社
- (2)実施日：平成30年7月25日、8月6日
- (3)参加者：80人(39人+41人)



理工系女子バスツアー

3. 男性の家事・育児参画推進事業

男性の家事参画の意識醸成を図り、女性が働きやすい環境づくりに向けて、男性対象の料理講座等を実施した。

【実施状況】

- (1)内容：父と子のふれあい教室(丸鳥のハーブチキン作り・恵方巻き作り)、男性料理講座(3回)
- (2)参加者：85人(父と子のふれあい教室：45人、男性料理講座：40人)



父と子のふれあい教室

4. 男女共同参画推進事業者表彰

女性活躍推進や男女がともに働きやすい環境づくり等に積極的に取り組んでいる事業者を表彰した。

【実施内容】

- (1)受賞者：3者(株)小松製作所郡山工場、福島コンピューターシステム(株)、陸奥テックコンサルタント(株)
- (2)表彰式：平成31年2月23日(男女共同参画フェスティバルセレモニーの席上)



男女共同参画推進事業者表彰

5. 男女共同参画フェスティバル

職場環境も含めたあらゆる分野における男女共同参画推進のため、市民との協働によりフェスティバルを開催した。(実施者は郡山市男女共同参画センターの指定管理者である公益財団法人郡山市文化・学び振興公社)

【実施内容】

(1)主な内容

- ①セレモニー：男女共同参画推進事業者の表彰等
- ②講演会：[講師]つるの 剛士氏 [テーマ]子育てを楽しもう
- ③活動成果展示：男女共同参画推進事業者表彰受賞者の取組内容紹介等

(2)日時：平成31年2月23日、24日 ※①、②は23日のみ

(3)参加者：1,712人



男女共同参画フェスティバル講演会